

キベリクロヒメゲンゴロウ

Ilybius apicalis Sharp
コウチュウ目・ゲンゴロウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

全国的に減少がいちじるしく、6都県でレッドリストに掲載されている。神奈川県では絶滅種。本県での分布はやや局所的で産地に限られる。

種の特徴

体長 8.0 ~ 10.0 mm。体型は楕円型でやや細長い。前胸背板～上翅は黄褐色に縁どられる。池沼、放棄水田等の止水域に生息する。詳しい生態は不明。

分布

国内では北海道～南西諸島のトカラ列島まで広く分布するが、やや局所的である。今回の調査では越前町と敦賀市中池見湿地から記録された。中池見湿地では個体数が多い。

生息を脅かす要因

生息地の開発による消失、水質の汚染、アメリカザリガニ等の侵略的外来種の侵入。本県での産地は少なく、今後、上記要因等により容易に消滅するおそれがある。周辺環境を視野に入れた生息環境の保全が望まれる。

参考文献 環境省 (2015)、森・北山 (2002)、福井県自然環境保全調査研究会 (1985)、福井県自然環境保全調査研究会 (1998)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○	○	○						○	○			○

キベリマメゲンゴロウ

Platambus fimbriatus Sharp
コウチュウ目・ゲンゴロウ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

県内での生息地は九頭竜川中流域等局所的だが、今回調査で新たな産地も確認された。河川改修等による影響を受けやすく、継続的な注視が必要である。

種の特徴

体長 6.5 ~ 8.0 mm。体型は長楕円形。上翅辺縁に個体変異に富む黄色の斑紋を持つ。近縁種とは斑紋の形状で区別できる。流水性。流れの緩やかな淀みの石の下や岸辺の植物周辺で見られるほか、灯火にもよく飛来する。

分布

北海道～九州、朝鮮半島及び中国に分布。本県では九頭竜川の中流域に生息する。

生息を脅かす要因

主な生息地が河川の中流域にあるため、護岸改修等による環境変化の影響を受けやすい。

参考文献 環境省 (2015)、森・北山 (2002)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○					○		○

コオナガミズスマシ

Orectochilus punctipennis Sharp
コウチュウ目・ミズスマシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】絶滅危惧II類

選定理由

1990年代以降、全国の産地で急速に個体数が減少している。従来、県内での産地は九頭竜川中流域に限られていたが、今回真名川（大野市南新在家）でも新たに確認された。引き続き注視が必要である。

種の特徴

体長 5.5 ~ 6.0 mm。体型は細長く、背面は褐色を帯びた黒色。流水性。河川の中流域や緩やかな流れのある池沼に生息し、岸辺に植物が豊富な環境に多い。

分布

本州～九州に分布。近年各地で生息地が減少している。本県では九頭竜川中流域に生息する。今回は九頭竜川中流域に加え、真名川（大野市南新在家）でも見つかった。

生息を脅かす要因

主な生息地が河川の中流域にあるため、水質汚濁や河川開発等環境変化の影響を受けやすい。

参考文献 環境省 (2015)、川合・谷田 (2005)

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○						○	○